

## BM 素心

評議員会議長兼会長  
エプソン販売株式会社 代表取締役社長  
土橋 光廣



このたび、日本ボンデッドマグネット工業協会の評議員会議長兼会長に就任致しました。協会の発展の為、微力ながら皆様のお役に立てるよう努力して参ります。会員各位のご支援をお願い申し上げます。

新生「日本ボンデッドマグネット工業協会」として本年は5年目を迎えることとなりますが、この間、会員各位のご尽力により基盤作りとこれから飛躍する為の体制も整ってまいりました。

ボンド磁石の生産量は10年来毎年2桁成長を続けて参りました。その結果、鑄造磁石、焼結磁石を含む全磁石の中でボンド磁石の占める割合が増大し、92年度において25%を越えると推定されております。業務会議の中期需要予測では、今後も継続して成長が見込まれるとのことでございます。

ここ数年の用途例を見てみますとOA機器、民生機器を中心としたエレクトロニクス産業用が急速に増えてまいりました。これは「軽薄短小」又は「ダウンサイジング」といった言葉に代表される時代の流れに乗ってエレクトロニクス産業とボンド磁石の特徴の相乗的効果により発展してきたことを示していると思われれます。

ボンド磁石の特徴をユーザー側から見ますと、

- 1) 用途に応じて材料となる磁性粉末、バインダーの選択が可能。
- 2) 磁石成形方法のバリエーションがある。
- 3) 種々の形状のものが容易にできる。
- 4) 他の材料と一体化して複合的に使用できる。

といったメリットを見出すことができます。

それぞれの構成要素の担い手である会員各位がユーザーニーズにこたえ研究開発と改良を積み重

ねた結果の成果であると存じます。一般に新しい材料が生まれますと、その周辺の広い分野に需要が創造拡大され、そしてその産業の拡大に連れて応用開発が盛んとなり、市場へ製品や商品が投入されていくわけですが、ボンド磁石はまさにその需要創造拡大期にあたっていると思います。自動車メーカーであるGMが開発したNd粉末は自動車周辺で使用されると同時に、小型精密モータに応用され急速に拡大しました。

日々技術の研鑽に努め、時代の要求や、市場ニーズにマッチした用途や製品の開発がこれからますます求められることとなります。

世界的不況の中、これから当業界も、地球環境問題、互恵的国際分業、新素材の開発、新規応用分野の開拓等の課題に取り組まなくてはなりません。また材料に何か付加価値をつける為の知恵が求められてきます。ボンド磁石の特徴を生かして業界の発展に寄与できる分野の開拓を目指して、国内外のユーザーとのシンポジウムや業界全体でのPR活動等により知恵の輪を広げて参りたいと存じます。

会員各位の協調と協力により、厳しい環境下ではありますが、夢のある、元気の出る協会にして参りたいと存じますので、ご支援をお願い申し上げます。